

事務事業名	戦没者遺族高齢者慰問事業				担当	健康福祉部 社会福祉課 社会福祉係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画						事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠							☒ 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目							☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
	1. 一般会計	3. 民生費	1. 社会福祉費	1. 社会福祉秘書費					
事業概要	79歳以上の戦没者の妻及び父母に高齢者慰問金 年額30000円を支給し、労をねぎらう。 開始年度は、資料等がなく不明である。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 民生児童委員を通じて、慰問金を支給してもらう 30年度計画 前年度と同様				⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	慰問金支給者数	人	9	8	6	5	5
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 市内在住の79歳以上の戦没者の妻及び父母				⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	79歳以上の戦没者の妻及び父母の数	人	9	8	6	5	5
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 戦没者の妻及び父母に対して慰問する。				⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	支給者数 / 79歳以上の戦没者の妻及び父母の数	%	100	100	100	100	100
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 遺族の慰問				⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	支給によりねぎらわれた者の割合	%	100	100	100	100	100
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
(2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	27	24	18	15	15		
			事業費計（A）	千円	27	24	18	15	15		
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
			延べ業務時間	時間	3	3	3	3	3		
			人件費計（B）	千円	13	13	12	12	12		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	40	37	30	27	27		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		79歳以上の、戦没者の妻及び父母への慰問のために開始。									
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		該当者の高齢化により、減少傾向にある。									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？											